



港川人は今から18000年前の人間化石で、具志頭村港川の採石場から大山盛保さんによって発見されました。人間は4〜9体で非常に保存がよく、アジアにおける人類のルーツを解明し、日本における旧石器時代研究、沖縄における化石研究に貢献しました。

2 大山盛保生誕の地碑

港川人の発見者・沖縄化石研究の魁 2000年に世界遺産登録された「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の中で最も昔の姿をとどめている。城跡散策の距離は約1kmでサマースに最適。拝観料が必要です。



1 中城城跡

世界文化遺産 護国神社の臺入口 護国神社の臺は150mほど、階段を上ったところにあります。城跡最後の城主・護国公の臺は150m海の上ばらしい眺望が楽しめます。中城道146号線と中城村道が接する所で護国神社の臺入口



5 ナツカー庭苑

集落最古の井泉をミニ公園として整備。近くには大城・萩道集落発祥の地・チュノナー屋敷があります。この井戸を含め、10の共同井戸が「萩道・大城の湧水群」として平成の名水百選に選ばれました。



4 アカリカカー公園

古い井泉や池を整備したミニ公園で、大城喫茶店と名付けられた東屋が県道沿いに建っています。周囲には花咲組委員会によって育てられたウツギや草花が咲き、植えた植草（食草・食樹）を食べて育った蛹から羽化したオオコンダラやツバキ二蝶が飛びまわる別天地です。



3 道端の彫刻と壺

「花と縁に囲まれた芸術の里」を、目指す大城集落は、40点以上の彫刻と50点余りの陶芸作品が随所に飾られていて、地域全体が野外美術館となっています。



7 シーサー群像

北中城村文化協会の陶芸部員で組織する「シーサーで景観を創る会」により、14体のシーサーが設置されています。



8 萩堂貝塚の碑

国指定史跡 今から3500年前の縄文時代後期の貝塚が発掘されました。碑は貝塚から離れた民家の入り口近くに建っています。

6 ヒーシャーガー公園

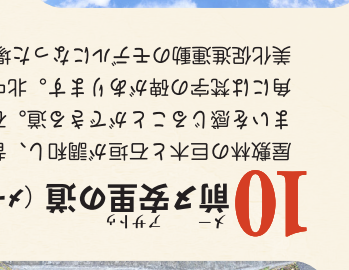


Goal 中村家住宅



11 大城公民館

沖縄の伝統的な建築様式を取り入れて建てられた公民館。公民館の門と前庭、隣接する公園には多くの彫刻やシーサーが飾られています。



10 前ノ安里の道 (メーゾー前の道)



9 萩道区の歌碑

萩道・大城へ行く道はとても高い坂（急坂）であるという掛け合いから歌にこめられた挽物口説の歌碑。民謡でも有名です。

世界遺産グスクのふるさとのみち



アクセス(自動車) 《一般道》那覇⇒国道58号⇒県道81号線⇒県道146号線(約50分) 《沖縄自動車道》那覇I.C.⇒北中城I.C.⇒県道81号線⇒県道146号線(約30分)

問い合わせ先 《北中城村役場 企画振興課》 Tel.098-935-2233 http://www.vill.kitanakagusuku.lg.jp 〒901-2392 沖縄県北中城村喜舎場426-2 《大城自治会》 Tel.098-935-1311(公民館) 《国指定重要文化財 中村家住宅》 Tel.098-935-3500 http://www.nakamura-ke.net 《中城城跡協同管理協議会》 Tel.098-935-5719 Fax.098-935-1146 http://www.nakagusuku-jo.jp

世界遺産グスクのふるさとのみち

日本のあるきたくなる道500選 新日本歩く道紀行100選 文化の道



女性長寿日本一の村

北中城村 OKINAWA KITANAKAGUSUKU

心と体を癒す 歴史、文化、自然のハーモニー 萩道・大城(ウンジョウ・ウフグシク)と連称される両集落はフクギ並木、石垣、古いカー(井泉)が周囲の自然環境と共存するような沖縄の伝統的な集落風景が見られます。 集落の歴史は古く、琉球王国が誕生する前から、中城城の城下町として人々の暮らしが営まれていました。さらに萩道には縄文後期に属する萩堂貝塚があり、太古の昔に、この地域には人が暮らしていた形跡が残されています。 両集落は湧水が豊富で各所に古くから利用されてきたカー(井泉)が点在しています。これらの井泉群はその歴史的価値と、今も暮らしと地域の年中行事・伝統行事の拠り所となっていることから「平成の名水百選」に選ばれています。また両集落の歴史的な景観や、美化運動、地域づくりの取り組みは「沖縄、ふるさと百選(認定第一号)」「日本のあるきたくなる道500選」「住まいのまちなみ賞」など数多くの賞を受けています。 両集落はランやいろいろとどりの花々、さまざまな表情のシーサーや芸術的なオブジェが沿道を彩っています。歴史、文化、自然の織りなすハーモニーが、散策する人々の心と体を、やさしく癒してくれるはずです。



